

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0174700963		
法人名	株式会社 アルムシステム		
事業所名	グループホーム 屈足ふれあい館		
所在地	上川郡新得町屈足柏町1丁目100		
自己評価作成日	平成24年11月5日	評価結果市町村受理日	平成25年2月4日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ		
所在地	江別市大麻新町14-9 ナルク江別内		
訪問調査日	平成24年11月29日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・畑を作り利用者と共に種、苗を植え、無農薬にて育て収穫、食事にて使用し提供しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

平成23年3月日高山脈の麓に新しく建設された事業所である。グループホーム上佐幌ふれあい館を引継ぎ、利用者及び職員全員移動した。冷暖房が完備され広くて明るい近代的な建物の中、事業所独自の理念を作り、それを管理者はじめ職員が共有して日々取組み、家庭的な雰囲気の中で利用者を家族のように支援している。町内会に加入して町内行事、老人会に参加し、近くの保育所と交流があり、町が主催する、地域の小学6年生が認知症について学習する「キッズサポーター事業」に参加・協力し、キッズサポーターが年に2回グループホームを体験・勉強のために訪れている。また、ホーム長は年に4回小学校に出向いて児童に向け講話を行って地域との交流を深めている。利用者の平均年齢が90歳となり利用者は馴染みの場所に行き、馴染みの人に会うことは減ってきたが、通所サービストとの交流で新しい馴染みができるように支援している。地域と支えあって、事業所理念の「地域社会と交流を持ち、健康で楽しく生活できるよう支援する」の実現を目指している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念 地域社会と交流を持ち健康で楽しく生活できるよう支援いたします	事業所独自の理念を事業所内に掲示し、常にホーム長や職員で共有している。「健康で楽しい生活」を送れるように、職員は利用者本位に考えている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	馴染みの床屋 あいの里(通所サービス)の方との交流 町内での買い物	町内会に加入し花見や新年会に参加、老人クラブ事業に積極的に参加している。又、近くの中学校の運動会や保育園の遊戯を見に行っている。事業所行事には町内会役員を中心に参加がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内の花見・新年会に参加 保育園の運動会の参加 わかふじ園の祭り参加 キッズサポーターの受け入れ		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一度会議を開き、活動状況の報告をしてアドバイスや意見等を頂きスタッフ会議の時に話し合いをしています	運営推進会議は2ヶ月ごとに開催。役場の地域包括支援センター職員、町内会長、民生委員、家族が参加し、行事などの報告を行い、意見をサービス向上に活かしている。非常口設置の提案など意見は実現されている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	入居する方の情報、入居後の状況、わからない事は包括に相談し支持を仰いでいる	包括支援センターを町が設置しており、日頃から接触を絶やさず、意見や相談が出来る体制を築いている。空き室情報を流すなど、互いに連携している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修等で理解を深め、必要なときは家族と話し合いをしています	身体拘束に関する研修をホーム長は年に3回、職員は年に2回受けている。職員は利用者の人権を尊重するケアを基本に、身体はもちろん言葉掛による拘束や心の拘束も正しく理解している。玄関は夜間のみ施設している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	会社で虐待防止委員会を立ち上げています 研修でアンケート調査を行ない結果報告を受けて職員は行動や対応に取り組んでいます		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修がありそれぞれ参加して勉強する機会をもうけています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に文章を読み上げ確認、納得、理解して頂けるように努めています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が来館された時に話をさせて頂いています	家族の来訪時に意見を聞くようにし、家族と会えない場合は現状報告と要望を促す便りを出している。受け取った意見・要望は検討し、運営に活かすようにしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回の会議で話し合いをしています 連絡ノートも活用、その時に問題があれば話し合いをすることもあります、	連絡ノートへの記載を利用して、毎月の会議の中で職員の意見を聞き、事業所の運営に反映させている。管理者は意見を聞き、職員は意見を言いやすい雰囲気がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	評価を年二回行ない、面談もしています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修がありそれぞれ参加して勉強する機会をもうけています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	社内交流参加 地域包括支援センター運営協議会参加		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時は特に関わりを持ち、会話を傾聴し安心して頂けるよう寄り添うよう努めます		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の話聞き、相談しながら信頼関係を築けるよう努力しています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族の要望聞き、援助の方法を考えたプランを作り対応しています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は利用者と同じ空間を共有し一方だけの立場にならない様に努めています		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族、支援者が同じ立場に立ち話し合い協力し支えあえる関係に努めています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出、電話等で途切れないように努めています	知り合いが面会に来たり、利用者の家で行事があり帰宅することを支援する。通所サービスとの交流で新しい馴染みができるよう、挨拶をし、話が弾むように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	リビングに集まり、テレビを見たり、カラオケを聴いたり、会話をしながら交流を持っています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されるまでは誠実に対応していましたが、退去後はあまり関わる機会がなく、相談がある時は誠実に対応して行きたいとおもいます		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望に添うように努めていますが検討する事もあります	日々の会話の中や生活歴から把握し、スタッフにも周知して対応している。希望に直接応えられないときも、職員は代替的な措置を考えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	馴染みの物を室内に置き、生活環境に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人のペースに合わせた生活をして頂けるように努めています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月一回会議を開き意見交換しご家族とも話し合いその結果をプランを作成しています	アセスメントとモニタリングを繰り返しながら計画を見直し利用者と家族の要望に応じたものと成ってる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日誌、連絡ノート、口頭での申し送りしています その都度話し合いをし計画の見直しをしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	話し合い、相談しながら臨機応変に対応できるよう支援に努めています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	情報を集め、活用しながら支援しています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	それぞれのかかりつけ医に、かかれるように支援しています	かかりつけ医への受診を支援している。利用者のほとんどはかかりつけ医にかかり、帯広など遠方以外は職員が支援・同行する体制にある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在は看護師さんは在籍していませんが何かあれば受信時往診、かかりつけの診療所に電話等で相談出来ています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中、退院時に医師、看護師さんに情報交換したり支持を仰いでいます		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所の時に説明し、ホームでの支援が何処まで出来るか理解して頂いています	重度化した場合に事業所のできる事、たとえば早期の相談、病院や行政との連携とできないことを契約時に説明して、同意をもらっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し、各自いつでも見られるようにしています		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回訓練を実施しています	消防署の協力を得て年2回訓練を行っている。災害時のマニュアルが整備されている。町内会との連携体制を確認している。	災害に備えて、近隣住民の理解と協力が得られるように工夫し、災害時の分担をあらかじめ依頼しておくことを望む。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人を尊重し、対応に気を付けています	プライバシーや個人の尊重について常にホーム長が日常の言葉使い虐待について指導している。職員は日々の生活の中で利用者の尊厳を傷つけないように心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来るだけ本人の希望に添えるようにしています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来るだけ支援していますが、業務優先になることもあります		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分で選んで着ています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューを決めてもらったり、下ごしらえ、盛り付け等を手伝って頂いています。一人一人出来る事を協力して頂いています	能力に応じ配食と後片付けを職員と一諸に行っている。職員は利用者に寄り添って一緒に食事している。外食は1ヶ月に一回皆で施設の車で食事を楽しんでおり、時には帯広に回転寿司やバイキングに行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は記録に落としています。水分は夏は特に気をつけて取って頂いています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、歯磨き、寝る前は入れ歯の人は洗浄もして頂いています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレ誘導をしたりその人その人に合わせて、リハビリ、パットを使用しています	一人ひとりの排泄パターンを把握し、その人に合わせてトイレ誘導している。失敗した時には、自尊心を損なわないように配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取、食事内容に気をつけています。下剤を服薬しています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	毎日入浴出来るようにしています。本人の意思を尊重しています	入浴はいつでも入れるようになってる。自力入浴者が一人いる。嫌がる場合も無理に勧めず、時間や人を代えて再度促している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の習慣に合わせています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋と薬を確認し薬はホームで管理しています。服薬の時は名前を呼び薬と確認してから一人一人の状態に応じて薬はいか手渡しをしています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	散歩、買い物、食事の手伝い等で気分転換をしています。個人が好きな折り紙をしています		

グループホーム 屈足ふれあい館

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来るだけ希望に沿うようにしたいと思います。家族の協力をえて外出、外泊もしています	生活の質の向上のためには気分転換や五感の刺激が不可欠だと考え、利用者の思いに沿って、出来る限り散歩など外出支援を行っている。家族の協力を得ながら外出や外泊ができるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人でお金を管理している人は自分で支払う事もありますが見守りをしています。ホームで管理している人もいます		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は希望があれば対応しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとのきり絵をしたカレンダーを貼り、居室は個人にまかせています。照明は時間に応じ調節し夏にはクーラーを使用し温度調節しています	ホームは新築して1年8ヶ月で近代的な居室で食堂と居間は一体で広く嫌な臭や音もなく落ち着いて過ごせる共有空間となっている。壁に季節感あふれる掲示物を飾り、格好の話題にしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各居室で一人の時間もあり、気の合う人と交流もあります		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時になじみのある家具を持ち込んで頂き安心して生活できるようにしていただいています	思い出の写真や神棚、仏壇などが持込まれ、整理整頓されて、居心地良く過ごせる居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室等安全に配慮して生活して頂くように工夫しています		